

早わかり 駿府城

? 駿府城 - 築城から埋め立てまで -

天守・天守台の存続期間

略年表

大改修前の天正期駿府城についてほとんどわかっていません

28年

地震の度に崩れて修復

- 天正 13(1585)年 7月 徳川家康 築城開始 **築城 1回目**
- 天正 14(1586)年 家康が浜松城から移る
- 天正 16(1588)年 5月 駿府城天守完成
- 天正 18(1590)年 8月 家康が江戸へ
- 慶長 6(1601)年 中村一氏(豊臣方武將)が城主になる
- 慶長 12(1607)年 内藤信成(徳川一門)が城主になる
- 慶長 14(1609)年 2月 全国の大名に負担を命じる天下普請による大改修開始 **築城 2回目**
- 慶長 15(1610)年 7月 家康が移り住む、天守台完成
- 慶長 15(1610)年 12月 天守焼失(建設途中か)
- 慶長 14(1609)年 徳川頼宣(家康の子)が城主になる
- 慶長 15(1610)年 天守完成
- 元和 2(1616)年 家康が駿府城で亡くなる
- 寛永 元(1624)年 徳川忠長(家康の孫)が城主になる
- 寛永 9(1632)年 忠長が所領没収される。
- 寛永 12(1635)年 これ以降城主不在となり、幕府の直轄地として江戸から来た役人が管理
- 寛永 12(1635)年 城外の火事が引火、天守・櫓等焼失
- 寛永 15(1638)年 御殿・櫓など再建する(天守再建せず)
- 宝永 4(1707)年 宝永地震により石垣・建物被害
- 宝永 5(1708)年 修復工事を行う
- 安政 元(1854)年 安政地震により城内の建物ほぼ全壊
- 安政 4(1857)年 修復工事を行う
- 明治 3(1870)年 城門など建物の払下げ、取壊し開始
- 明治 29(1896)年 陸軍歩兵連隊設置に伴い天守台取壊し・本丸堀埋立

関連施設案内



アクセス

〒420-0855
静岡市葵区駿府城公園 1-1

JR 静岡駅より徒歩約 15分
新静岡駅より 徒歩約 12分
東名高速道路静岡 IC より
車で約 17分
新東名高速道路新静岡 IC より
車で約 18分
(Google マップによる)

施設利用案内

- 【料金】 発掘情報館 きゃっしる 入場無料
- | | | | | |
|--------|---------|--------|----------|---------|
| 東御門・巽櫓 | 大人 200円 | 小人 50円 | } 3施設共通券 | |
| 坤櫓 | 大人 100円 | 小人 50円 | | 大人 360円 |
| 紅葉山庭園 | 大人 150円 | 小人 50円 | | 小人 120円 |
- 【開館時間】 9時～16時30分(入場は16時まで)
- 【休館日】 発掘情報館 きゃっしる 年末年始(12/29から1/3まで)
ほか3施設 月曜日(休日・祝日の場合は休館振替無しで営業)、年末年始
- 【お問い合わせ】 歴史・発掘 静岡市歴史文化課 054-221-1085
その他 二の丸施設管理事務所 054-251-0016

すんぷじょうあとてんしゅだい

駿 府城跡天守台

はっくつちょうさ

発 掘調査

N A V I



? 天守はなぜ江戸時代の初めになくなったのか

明治時代に廃城になるまで、火事や地震で被災する度に天守台や他の建物は再建されたのに対し、寛永12(1635)年以降天守が再建されることはありませんでした。これは徳川家による江戸幕府の体制が盤石なものとなり、戦や権威のシンボルであった天守が必要ない、天下泰平の世になったことを示すと考えられています。

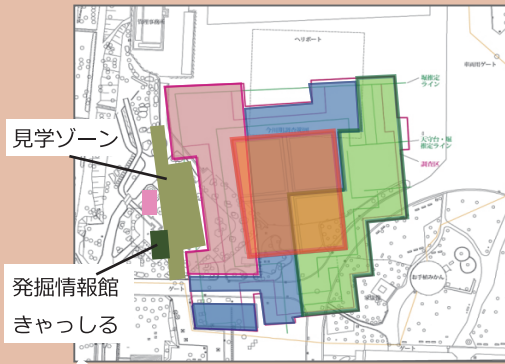
? 現在の駿府城

駿府城には三重の堀がありましたが、市街地化などによって埋め立てられ、幅が狭くなりました。現在では二ノ丸堀(中堀)より内側が駿府城公園となっており、宝暦年間(1751～1763)の修復記録に基づいて、東御門や巽櫓などが復元・公開されています。

静岡市歴史文化課

駿府城跡天守台発掘調査

駿府城跡天守台の整備方針の決定に向けて、天守台石垣の残存状況の確認や正確な学術的データを得るため、H28年8月からH32年2月まで実施予定です。H28年度からH30年度は天守台と本丸堀を、H31年度は今川期の遺構の調査を行っていきます。

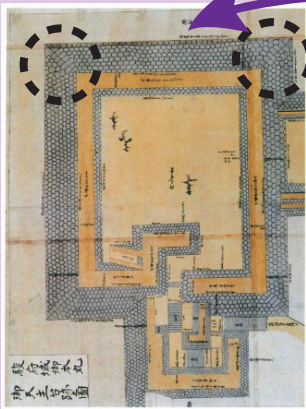


↑天守焼失後の天守台のイメージ
(東御門展示中の駿府城模型より)

調査範囲

H28年度 ■ H29年度 ■ H30年度 ■ H31年度 ■

これまでの調査の成果



↑天守台の図
(静岡県立中央図書館蔵)

過去の発掘調査では石垣の北辺の両角が確認されています。また、今川期の遺構も発見されました。以前から駿府城付近に今川館があったと伝えられ、今回の調査成果が、不明だった今川館の位置確定へつながるかもしれません。



←昭和55年の試掘で発見された天守台石垣の一部
(静岡県教育委員会)

発掘調査現場のご案内

静岡市が目指している「歴史文化のまち」の実現に向け、本物の駿府城の天守台や堀の姿への理解を深めていただけるよう、普段は安全上立入禁止の発掘調査現場を一般公開しています。巨大な天守台が徐々に姿を現す様子を実際に見られる機会は今だけです！このワクワクを共有しませんか。

見える! その1 天守台の石垣&堀

大きな石垣や深い堀が姿を現していく様子は圧巻! ぜひその目でお確かめください。

石垣マメ知識 ~駿府城跡で見られる石垣の例~

打ち込み接(うちこみはぎ)

打ち砕いて加工した石を積み、小さな石で間を埋める。築城当初の石垣。



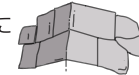
切り込み接(きりこみはぎ)

方形に整形した石をきれいに隙間なく積む。築城後に地震等で崩れ、修築した際の新しい石垣。



算木積み(さんぎづみ)

石垣の角に見られ、横長の石を交互に積み上げ、崩れにくくする積み方。

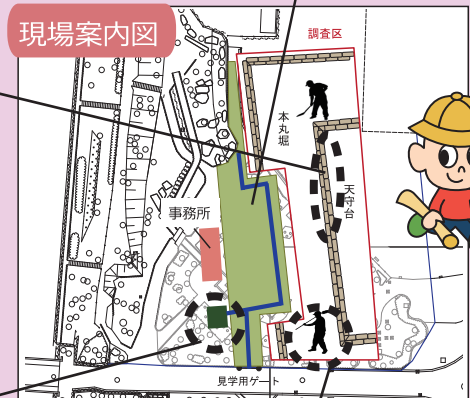


ほかにも積み方があり、当時の技術や流行の移り変わりが反映されていますので、じっくり観察してみてください。

見える! その2 現場の公開&現場説明会

通常の発掘調査では、「現説(現場説明会)」と呼ばれる公開日以外ではなかなか観覧できませんが、作業を見られる見学ゾーンを設置! もちろん調査員による「現説」もH28年10月とH29年2月に開催予定です。*現説の詳細は広報紙等でお知らせします

現場案内図



埋文ぼうや

見える! その3 発掘情報館 きゃっしる

駿府城と発掘調査について、基本情報がまるわかり! 毎日の調査の成果もいち早くチェックできます。

- ・駿府城かんたんQ&A
- ・ビデオ「駿府城ってどんな城」放映
- ・江戸城よりも大きい!? 駿府城の構造 (ほか)

見える! その4 発掘作業員の衣装

現場で働く作業員の衣装もこだわりの逸品です。家康公愛用の歯杵具足(しだぐそく) 風ヘルメット・葵紋入りピブスを着用して作業しています。



駿府城のことをもっと知りたい方へ!

『駿府城ガイドブック』500円
発掘調査現場 事務所にて販売中!



埋文ガール